

上下水道事業 管理者挨拶



上下水道事業管理者
伊南 一也

本年4月に下関市上下水道事業管理者に就任しました伊南一也でございます。
いつも水道水、工業用水、下水道をご利用いただき誠にありがとうございます。
下関市上下水道局は、市民の暮らしを支えるため、安全で安心な水道水の供給と快適な生活環境の整備に日々取り組んでおります。

現在、特に注力しているのは、老朽化した施設・管路の計画的な更新や耐震化、そして浸水対策です。これは、近年頻発する自然災害や大規模な陥没事故の対策として重要な施策でございます。

また、人口の減少や経済情勢の変化など、下関市の上下水道事業を取り巻く環境は年々厳しさを増していますが、持続可能な事業運営を確保し、将来世代にも安心して上下水道をご利用いただけるよう努めてまいります。

今後も皆さまの信頼に応えるべく、引き続き職員一丸となって努力を続けてまいりますので、上下水道事業へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ウォータートーク 上下水道Q&A

Q1 最近テレビや新聞等でよく耳にする「PFAS」について気になります。下関市は大丈夫でしょうか？

A1 有機フッ素化合物（PFAS）は、1万種類以上の物質があるとされており、その中でもPFOS（ペルフルオロオクタンサルホン酸）、PFOA（ペルフルオロオクタン酸）は幅広い用途で使用されてきました。これらの物質は、難分解性、高蓄積性、長距離移動性という性質があるため、国内で規制やリスク管理に関する取り組みが進められています。

下関市上下水道局でも、PFOS及びPFOAについて、令和2年度以降、下関市の水道水及び水道原水（浄水処理を行う前の水）で定期的に調査を実施してきており、これまでに目標値を超えて検出されたことはありません。

詳細については、下関市のホームページから「水道水における有機フッ素化合物（PFAS）について」をご検索ください。

水道水における有機フッ素化合物（PFAS）について

検索



Q2 災害に備えた水道水の備蓄方法について教えてください。

A2 飲用水として水道水を備蓄する場合は、蓋が閉まる清潔な容器に、空気が入らないよう満杯まで水を入れ、しっかり蓋をします。

水道水には消毒用の塩素が含まれているため、直射日光を避けた場所で3日、冷蔵庫で1週間程度保存が可能です。煮沸した水や浄水器を通った水は、消毒効果がなくなっていることから保存には適しません。また、朝一番の水道水は塩素が薄まっていることがあるため、バケツ一杯程度出した後の水を使用しましょう。

保存期間を過ぎた水は、掃除や花の水やりなどに使用し、定期的に新しい水と交換してください。

※1日に必要な飲用水は、一人当たり最低3リットル

